



並木中等進路だより

前期生

NO.4

DEC 7, 2015

保護者面談資料

茨城県立並木中等教育学校学習進路部

1・2・3年「学力推移調査」結果分析

本校では年に2回(4月と10月), 中高一貫校の中学校向け全国テストである学力推移調査(ベネッセ)を実施しています。10月に実施された結果のデータをご紹介します。

【1年次生平均点偏差値推移】

	2015・10月	2015・4月
国数英平均点偏差値	63.1	(国数) 58.6
国語平均点偏差値	57.0	57.4
数学平均点偏差値	60.9	57.5
英語平均点偏差値	63.5	



【2年次生平均点偏差値推移】

	2015・10月	2015・4月	2014・10月	2014・4月
国数英平均点偏差値	61.2	61.1	59.9	(国数) 58.3
国語平均点偏差値	57.1	58.0	56.3	57.4
数学平均点偏差値	59.2	59.1	57.4	57.2
英語平均点偏差値	62.0	60.9	61.0	

【3年次生平均点偏差値推移】

	2015・10月	2015・4月	2014・10月	2014・4月	2013・10月	2013・4月
国数英平均点偏差値	61.7	63.2	62.6	64.2	63.8	(国数) 56.2
国語平均点偏差値	57.6	57.3	55.7	57.3	56.6	57.2
数学平均点偏差値	58.5	60.6	60.2	62.2	61.1	54.1
英語平均点偏差値	62.6	64.4	64.8	66.0	66.0	

各年次とも、国数英平均点偏差値が60を超えました。コツコツと学習を続けた多くの生徒にとって、日頃の努力が良い結果として表れ、大きな自信に繋がったはずですが、しかし、教科によっては、前回と比較すると伸び悩んでいるようです。授業の内容を分からないままにしていらないか、課題をしっかりと提出しているか、もう一度ご家庭でも確認して下さい。

本校では定期試験・実力試験の後には、必ず見直しをすることを各教科とも課題として出しています。今回もそれぞれが結果をよく分析し、得意教科を更に伸ばし、不得意教科を克服するために、今日から何をすべきか考えるよい材料となります。不安や心配な点は、しっかり担任の先生に相談して下さい。



次に生徒たちの現在の家庭学習時間を見てみましょう。

【家庭学習時間】(分)

	2015・10月 並木中等	2015・4月 並木中等	2014・10月 並木中等	2014・4月 並木中等	2013・10月 並木中等	2013・4月 並木中等
1年(平日)	103	114				
1年(休日)	202	195				
2年(平日)	94	99	96	115		
2年(休日)	182	186	192	197		
3年(平日)	82	88	90	102	121	117
3年(休日)	179	185	174	199	221	196

学年が上がるにつれて、学習時間が減っています。学習内容は年次が上がるにつれて難しくなっているのに、しっかり理解するまで学習をしているでしょうか。高校受験をする中学生は「学年＋1時間」の家庭学習が必要であると言われていています。高校受験がないからとひたすら過ごすと、高校進学後、大きな差となって本人が苦しい思いをしてしまいます。ご家庭でも、予習、復習などの課題をしっかりと取り組めるように、お声かけをお願いします。

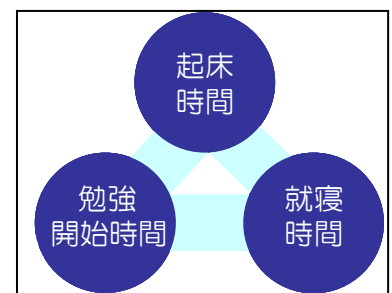
やる気を継続するコツとは

「ハネムーン効果」という言葉を知っていますか。やる気というのは一時期高くても、ほうっておくとだんだん下がってしまう現象を示す心理学の用語です。希望でいっぱいだった入学した頃と比べて、現在のモチベーションはどの位でしょうか。「やる気はほうっておくと下がる。」ということを知っていれば、下げない工夫が必要です。

最近一流スポーツ選手が実践している「ルーティン」という言葉が有名になりました。スポーツだけではなく、ビジネスにも応用できると、注目されています。学校生活も同じことが言えます。

中学生が規則正しい生活を送るために、3つの時間を固定すると良いと言われていています。「起床時間」「勉強開始時間」「就寝時間」です。部活動などで帰宅時間が遅くなり、帰宅後の時間をだらだらと過ごしたり、疲れ果てて宿題や復習をせずにそのまま寝てしまったりするお子さんはいないでしょうか。

やるべきことを毎日続ける、つまり習慣を味方に付けると、日々の生活に大きな変化が出て、目標達成に近づきます。冬休みは、特に生活が乱れがちです。スコラ手帳を上手に活用して、有意義に過ごして下さい。



冬休みもう一度確認を

★計画を立てる

★規則正しい生活を送る

★苦手科目を克服する

★学習記録を残す

★課題にしっかりと取り組む

★ふだんやれないこともやる

